

BOAT RACER'S HOT LINE

宇留田翔平

Shohei URUTA

成績は3月18日現在

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期 勝率	通算 勝率	通算 1着	通算 優出	通算 優勝	2024年賞金	生涯賞金
5010	三重	三重	121	28	A2	5.93	4.11	101	4	0	1608万3760円	7794万1785円

勝率を一気に1.47アップさせA2級初昇格!
データよりもコメント重視の個性派レーサー



○自分に甘かったデビュー当時
ボートレーサーを志したきっかけは?

父がボートレース好きで、よくレース場に連れて行ってもらってました。なので小さい頃から「レーサーになりたい」という気持ちがありました。憧れの選手は特にいませんでした。レースを見ていて「自分も乗ってみたい」と思っていました。養成所は高校卒業と同時にに行けるようにと受けましたが、合格したのは4回目でした。

——養成所時代は?

乗ることも難しいけど、それよりも生活の方が大変でした。減量とかではなく、管理された生活が……。自分は朝が苦手、早起きがつらかった。今でもそれは好きじゃないですね。

——デビュー当時は振り返って。

やるべきことをやっていなかったし、仕事への取り組みがすごく甘かったと思います。成績を取れなくて当たり前だと思えます。体重も、レースに対する姿勢、やる気の面でも良くなかった。

——デビュー当時から新田雄史選手が師匠。

基本は優しい師匠ですが、1回むちゃくちゃ叱られたことがあります。それは体重のこと。デビューしてすぐの頃、当時の最低体重は51kgだったんですけど、節制することなく56〜57kgくらいでレースに乗っていました。このままではダメだと思うくらい叱られて、しっかり減量しました。今は規定の52kgで乗っています。

——デビューから2年を要してようやく初勝利。

そのレースだけは絶対に勝てる自信がありました。平和島の最終日だったんですが、その日はエンジンも出ていて、4コースからのまくり。普通にスタートを決めたら行けるくらいに仕上がっていました。同期はその頃からスローに入っていました。自分は当時、ダッシュ一本でした。そこは負けたくないという気持ちはありました。

——それは師匠のアドバイス?

いや、新田さんからは「勝てるならコースは入っていいよ」とは言われていました。でも、ダッシュで成績を取れないのに、スローに入っても意味がないと考えていたの、買きました。同期ではスローに入るタイミングが一番遅かったと思います。

○急成長

——その後は勝率を徐々に上げて4点台をキープ。

満足しているわけではないけど、「自分の成績はこんなもの」という気持ちがありましたね。それより上に行けるイメージが湧かなかった。甘えていましたね。安定はしているけど、同じ成績が8期くらい続いてしまった。

——そこから突発的に前期(25前期)は6点に迫る成績をマークしてA2級に初昇格。殻を突き破ったように見える。

前期はエンジンの引きも良かったし、展開も良かった。運が良かった。

つたんだと思います。それでもスタートの質とエンジン出しに関しては前に比べたら良くなったかなとは思いますがね。

——スタートへのこだわりは?

スタートは腹をくくって行くようにしています。お客さんには申し訳ないですけど、「遅れても仕方ない」というタイミングで、ダッシュ乗りだけは良く、伏せ込んで行くようにしています。タイミングにはこだわらず、スリットは全速で通過できるように行っています。

——今、求めている調整は?

乗り心地は気にしていません、直線でも行き足でも何でもいから、どこかの足を求めています。展示タイムは重視していません。むしろ出なくてもいいかなと思っています。成績の良い、悪いに関係なく、エンジンが出ていたら「出ています」とコメントしますし、逆に成績が悪くても出ていない時は「足は良くないです」と正直に話しています。だから新聞のコメントは参考にしてみたいと思います。

——近況は優勝へあと一歩の印象。

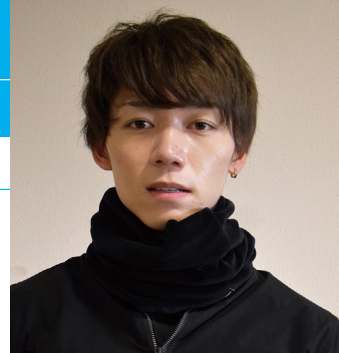
やっぱりまだ武器がないです。こうしたら優勝というイメージが少ない。実力がないから、成績が持続しないです。あと優勝もしたいですが、それよりもA1級になりたいという思いが強いです。そして師匠の新田さんやいつも良くしてもらっている豊田健士郎さんと一緒に舞台を走れるようになりたいですね。

BOAT RACER'S HOT LINE

若林樹蘭

Jyuran WAKABAYASHI

登番	支部	出身	期	年齢	級	前期 勝率	通算 勝率	通算 1着	通算 優出	通算 優勝	2024年賞金	生涯賞金
5228	東京	山梨	129	22	A2	5.83	4.86	91	5	0	2058万7260円	4513万8131円



「しっかり稼いで賞金の半分を家族に…」 成長著しい江戸川のフレッシュルーキー

○知識ゼロから選手に

子供の頃に馬術をやっていた。

馬術は競馬のジョッキーマスターを目指すためにやっていた。競馬に興味があったわけではなく、動物が好きだったんです。あと母に勧められたボートレーサーにもなりたい気持ちもあって、どちらも子供の頃からの憧れという感じですね。ただ、ジョッキーマスターは中学から高校までに入らないと厳しいというのもあって、先に目指す形ではありました。ボートは30歳まで養成所に入るチャンスがありますからね。

——お兄さんが先に競馬学校に入ったとか。

そうですね。だけど途中で辞めてしまったんです。兄の背中を追いかけていたので、シヨックでしたね。それで追いかけるものになくなって、僕自身の目標も見失いました。当時は高校1年、2年生進学校だったので、漠然と大学に進むことを考えてはいたもの、大学に行ってもやりたいことはないな。と。そんな時にボートレーサーのことを思い出したんです。

——ボートの知識はあった？

全然。受験の直前に1度浜名湖に行ったくらいです。試験内容とかを調べた程度で、知識は全くありませんでした。ただ、ボートレーサーはみんながゼロからのスタート。養成所に入るまでほとんど経験者がいない。そこはすごく魅力的でしたね。自分は馬術の他にサッカーもやっていたので、柔軟に対応できるんじゃないか。とい

う思いはありました。

○近況

——2期連続A2級に。

インからのスタートがつかめてきたのが成績上昇につながっているかな。とは思いますが。スローに入り出した当初は難しかったです。最近はその不安要素も軽減されてきました。

——現状の課題は？

調整面が課題ですね。全然合わせ切れてない。江戸川の調整はまだ分かるかな。走っている回数が多いですから。ただ、他のレース場の調整が分かっているという点ね。とはいえ、今年もフレッシュルーキーに選んでいただいたし、江戸川を多く走れることが有利な面もある。そこは前向きにとらえていきたいです。

——それでもこれまで5回（2月9日現在）の優勝戦進出。そろそろ優勝を期待したいところ。

全然ですよ。準優勝戦もそうですが、優勝戦も調整を合わせて乗れたことがない。これまでも「行ける！」と思って乗ったことは正直ないですね。直線がすごくいい。という状態で乗れたことはないんです。予選でも外から勝てない。逆に、外から勝てていても内取りこぼしたりもする。安定感がないし、そこも修正したいですね。安定した結果を出して、いい枠でまずは準優勝戦に乗りみたい。そこが今年の課題でもありますね。

——順調に階段をのぼっているよ

うに見えるが？

迷走中ですね。A2級に上がることができているけど、本当はA1級をキープし続けるのがベスト。そこで伸び悩んでいるという感じがありますね。そこは突き破りたいという思いがあります。

○家族の期待

——調整面で重視していることや自身の買い時は？

調整面では乗りやすさと回りやすさ、出足を重視しています。そこがあれば前を追うこともできます。まくり差して勝つのが一番好きですね。タイムで重視しているのは1周タイムと回り足です。一番右にある直線タイムはターンしてからのつながりも入っていると思います。普通の展示タイムよりは重視できると思う。そこは見えてもらいたいですし、特に僕が重視しているタイムデータがいい時は狙ってもらえると思います。

——レーサーになった当初の目標は「獲得賞金1億円」でした。

そのころはレーサーになったばかりでよく分かっている面もありました。今でも「いっぱい稼きたい」という思いはあります。そこに行くためには毎年のようにグランプリに乗らないといけない。将来的にはそこを目指して行きたいですね。僕は6人兄弟の一番下なんです。稼いだ賞金の半分くらいは家族に回したいという思いがあります。みんな僕のことを応援してくれていて、期待してくれていますから。